

# 新幹線情報

2009年 7月21日  
第1号

JR東海労新幹線地本

## T科長、6階中に聞こえた怒鳴り声・・・？ T科長「●○△%&# \$?! っって」

7月15日、東京仕業検査車両所・東京交番検査車両所・東京修繕車両所はこの日総合点呼を行っていました。なにやら会社のお偉い人が見えたとあって所長以下管理者がピリピリしていたそうです。そんなことは知らずに、連日の仕事疲れか若いA社員が遅刻をしてしまったのです。A社員が出社するとすぐに、T科長とT助役に呼び出され「事情聴取」が行われました。

三島車両所から東京修繕車両所に栄転し科長となったそのT科長は、ここぞとばかりA社員に「事情聴取」を行ったのですが、いつものように「●○△%&# \$?!」で、返答に困っていたA社員は曖昧な返事をしていました。するとT科長はプツンと切れて怒鳴り声を上げ出したそうです。しかも、6階のフロア全部に聞こえるほどの怒鳴り声だったそうです。6階には修繕車両所と仕業検査車両所の詰所や修繕車両所当直等があります。「事情聴取」をするのに怒鳴り声では応える方もたまったものではありません。

これはT科長による「パワハラ」そのものです。このような怒鳴り声が何時続いたかは分かりませんが、これでは希望をもってJR東海に入った若い社員は心の病や出勤拒否に陥ってしまいます。

以前、旧東京第二車両所でも同じようなことがあり、その時の若い社員はJR東海に見切りをつけ辞めていったということがありました。これは会社管理者による「パワハラ」が原因だったといわれています。会社は反省どころかそれを繰り返しているのです。

## 「命令と服従」「忠誠心」を発揮するT科長！

T科長はここぞとばかり、葛西会長の好きな「命令と服従」で、社員に圧力をかけてきたのですが、逆にT科長が「プツン」では話になりません。そこにT助役もいたのですからT科長の怒鳴り声を注意する事だって出来たはずなのです。なぜ注意できなかったのでしょうか？「忠誠心」とやらで、科長に従っていたのでしょうか？このままでは「パワハラ」はあたり前になってしまいます。

また、東海ユニオンは「パワハラ」についてどう考えているのか？しかも、管理者というが同じ組合員のはず。管理者組合員が同じ組合員に対してこのような仕打ちをしていることについて、いったいどう思うのか？どうするのか？組合員に明らかにするべきです。

私達 JR 東海労は、このような「パワハラ」を絶対に許しません。労働組合として会社へのチェック機能をはたしていきます。

T科長および会社は今回の「パワハラ」を反省し、今後「パワハラ」は行わないことを社員に対して宣言すること、そしてA社員に謝罪することを求めます。

**「パワハラ」で社員を恫喝し「服従」させる会社を許さない！**